

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和3(2021)年度)

法人名(団体名) 川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------------------------	------------	-----------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

・周辺の各大型商業施設や商店街と地下空間で繋がるメリットを活かし、魅力的な商業施設として運営することで、川崎駅周辺における集客や回遊性の向上、賑わいの創出を図ります。また、川崎駅周辺の開発動向等に対応しながら、当該エリアの中心的な商業施設として商業活性化を推進します。

・川崎駅前広場の人車分離により歩行車の安全性を確保するため、市民が安全で快適に通行できる公共地下歩道を管理運営するとともに、川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車を解消するため、公共地下駐車場を適切に管理運営します。

・川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会が策定した「川崎駅周辺の災害時における行動ルール」において、駅周辺で最も収容力の高い一時滞在施設として位置付けられていることから、帰宅困難者対策等で地域社会に貢献します。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		活力と魅力あふれる力強い都市づくり	魅力と活力のある商業地域の形成
	分野別計画	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興プラン ・商業振興ビジョン 	

4カ年計画の目標

・顧客に支持される、魅力のある店舗を提供します。

ライフスタイルの理念のもとに、川崎アゼリアの将来にわたる持続的発展に向けた施設運営を行います。日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、売上増を目指します。リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、各ゾーンに最適なテナントミックスを実現することにより施設全体の活性化、店舗売上の向上を図ります。また、効果的なプロモーションの展開により、新生アゼリアのブランディングと店舗売上の促進を図るとともに、リニューアルに当たって作成したデザインの基準に則り、各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進します。

・安全・安心・快適な公共地下歩道、公共地下駐車場、店舗設備環境等を提供します。

計画的な施設・設備の整備・更新するとともに、環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理を実施します。

・アゼリアの公共的施設としての役割を的確に担うとともに地域社会への貢献を一層推進します。

2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29(2017)年度)	目標値 (令和3(2021)年度)	実績値 (令和3(2021)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	施設環境整備事業	計画的な施設・設備の整備・更新	%	30.8	100	56.5	d	C	II
		環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理の実施	該当年度 t-co2/基 準年度t- co2	1.236	0.950	1.035	b		
		通行者数	千人	291 (休日251)	291	209 (休日211)	c		
		駐車台数確保	台	362	362	362	a		
		事業別の行政サービスコスト (①～③事業合計)	千円	185,230	203,457	322,540	4)		
②	店舗活性化推進事業	店舗売上高	百万円	15,910	16,192	12,200	c	D	II
		店舗レジ客数	百万人	11.3	11.5	9.6	c		
③	地域社会への連携・貢献事業	帰宅困難者対策訓練	回	1	1	1	a	C	II
		チャリティーコンサート開催	回	2	2	0	d		

3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29(2017) 年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	財務の改善	有利子負債の削減	百万円	9,951	5,780	6,696	b	C	II

4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29(2017) 年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	法令順守の取組	コンプライアンスに反する事案の発生 件数	件	0	0	0	a	A	I

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【令和2(2020)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

令和3年度は、令和2年度の総括を踏まえ、お客様の安全安心を第一に、新型コロナウイルス感染症への対応を行いながら、安心・安全な公共地下歩道及び公共地下駐車場サービスの継続的な提供に努めるとともに、川崎駅周辺における集客や回遊性の向上、賑わいを創出できる、お客様にとって魅力的な商業施設となるよう、効果的なプロモーションの展開等に取り組んできました。また併せて、魅力的な商業施設の実現に向けては、法人として収支を改善し、経営の健全化を図っていく必要があると考えており、魅力ある店舗の誘致等により施設全体の活性化を図り、店舗家賃収入等の増加に取り組むとともに、工事費や委託費等の経費の縮減に取り組んできました。さらに、帰宅困難者対策や被災地復興物産展等の開催による地域貢献活動にも取り組んできました。

【令和3(2021)年度取組評価における総括コメント】

令和3年度においても、外出自粛や時短営業要請、酒類提供の停止等、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、当期損益は▲453百万円と厳しい結果となりましたが、独自のプレミアム付商品券発行やLINEを活用した新たな情報発信、イベント広場を活用した地方物産展等によるプロモーションに取り組み集客を図るとともに、客層を考慮したリーシングに努めながら、施設全体の魅力創出や活性化に取り組むことができました(営業収益前年度比102.9%)。また、営業費用については、水光熱費の高騰等がある中、業務委託費や人件費等の継続的な削減に取り組み、前年度比で100.5%に抑制することができました。

今後については、昨今の新型コロナウイルス感染症や原油・原材料費高騰等の社会経済環境等の影響を踏まえ、法人が新たに策定した中期経営計画に基づき、顧客に支持される魅力ある店舗への入替や効果的なプロモーションの展開、イベント広場の活用等により施設全体の活性化を図り、店舗家賃収入等の増加に取り組むとともに、委託業務や工事内容等の見直しを図るなど継続的な経費の削減に取り組んでいく必要があります。こうした取組により法人が、収支の改善、経営の健全化を図るとともに、引き続き、市民が安全で快適に通行できる公共地下歩道及び公共地下駐車場サービスの提供や、帰宅困難者対策等での地域社会への貢献活動に取り組む、川崎駅周辺エリアの中心的な商業施設としての役割が果たせるよう働きかけてまいります。

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和3(2021)年度)

事業名	施設環境整備事業
計 画 (Plan)	
指標	①計画的な施設・設備の整備・更新、②環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理の実施、③通行者数、④駐車台数確保
現状	①お客様及びテナントに安全・安心・快適な施設空間を永続的に提供するため、計画的に施設・設備の整備及び更新を行っています。 ②ユニバーサル化、環境配慮、省エネルギーに向けた取り組みを行っています。 ③平成30年度 275千人 ④平成30年度 362台(四輪347台 二輪15台)
行動計画	①施設・設備の安全・安心・快適性を維持し、高めていくために、劣化診断等に基づいた計画的な整備及び更新を推進するとともに、施設・設備の快適性等に配慮した的確な維持管理を行います。 ②施設整備及び維持管理に当たっては、効率性、経済性を発揮するとともに、ユニバーサル化、環境配慮、省エネルギー等にも最大限の配慮をはらうこととします。 ③施設・設備の安全・安心・快適性を維持し、川崎市民等の顧客への良好なサービス水準を維持します。 ④公共地下駐車場の管理・運営による川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車等の解消に努めます。
具体的な取組内容	①施設・設備の安全・安心・快適性を維持するため、経営状況も踏まえ、法定更新工事等優先順位の高い工事から年度設備更新計画に基づき整備を進めます。 ②維持管理においては引き続きユニバーサル化、環境配慮、省エネルギー等にも最大限配慮し、アゼリアを訪れる人々に快適性を提供します。なお、省エネルギーを検証するため、月1回関係者にて前月のエネルギー使用状況を確認し、省エネルギー化に努めます。 ③定例的な各種イベントについて、新型コロナウイルス感染症予防対策を図りながら計画するとともに、サンライト広場を積極的に活用することで、販売促進施策や川崎駅周辺イベントとの連動を図り、館全体の季節感の創出とサービス水準の維持に努めます。 ④駐車場についても効率的な運営に努め、引き続き駐車台数の確保に努めます。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 屋内消火栓及び連結送水管ホース交換等の各法令に基づく更新工事を優先的に行いましたが、その他工事は、コロナ禍における営業収益低下により、令和4年度以降へ繰り延べを行いました。</p> <p>【指標2関連】 環境に配慮した施設維持については、令和2年度の運転実績を基に空調機設定温度や冷水発生機運転方法等を検討し、令和2年度より改善を図ることができました。</p> <p>【指標3関連】 新型コロナウイルス感染症拡大の予防に努めながらセールや密を避けたイベントを実施する等、需要への対応を進めつつ通行者数の向上に努めましたが、緊急事態宣言の発出と酒類提供の停止などの影響により、平日の通行者数は、アゼリア全館としては令和2年度に対し31千人の減少となり、休日の通行者数は、アゼリア全館として令和2年度に対し23千人減少しました。なお、加えて、令和3年度の夏季期間においては、自宅にて東京オリンピック・パラリンピックを観戦する人も多かったと推測されるほか、それ以降も外出を控える傾向も強まり通行者数が減少しました。 令和3年度実績 平日209千人 (前年度比31千人減少) 同 休日211千人 (前年度比23千人減少) *調査日:令和3年8月27日(金)、28日(土)</p> <p>【指標4関連】 川崎駅東口の公共駐車場の役割も担っているアゼリア地下駐車場の駐車台数は、現在、四輪347台、二輪15台の計362台です。駐車場運営については、タイムズ24株式会社に委託しており、令和2年度に引き続き、適正な管理・安定した運営により、駐車台数の確保に努めました。</p>
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	計画的な施設・設備の整備・更新	目標値		48.1	65.4	82.7	100	%
	説明 計画的な整備及び更新に努める	実績値	30.8	48.5	53.4	54.1	56.5	
2	環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理の実施	目標値		1.1645	1.093	1.0215	0.95	該当年度t-co2/基準年度t-co2
	説明 ユニバーサル化、環境配慮、省エネルギー等に配慮した施設維持に努める	実績値	1.236	1.210	1.141	1.051	1.035	
3	通行者数	目標値		291	291	291	291	千人
	説明 快適で心地よい施設環境、施設空間づくりを推進し、通行者数の維持を図る(なお、目標値は平日の値であり、その達成度をもって評価するものとするが、実績値に休日の値を別掲の補足指標として加える) ※個別設定値: 276(現状値の95%)	実績値	291 (休日251)	275 (休日289)	297 (休日254)	240 (休日234)	209 (休日211)	
4	駐車台数確保	目標値		362	362	362	362	台
	説明 公共地下駐車場の管理・運営による川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車等の解消に努める ※個別設定値: 344(現状値の95%)	実績値	362	362	362	362	362	

指標1 に対する達成度	d	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	b	
指標3 に対する達成度	c	
指標4 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

指標1 コロナ禍における営業収益低下により、法令に基づく更新工事を優先的に実施し、その他工事を先送りしたことが要因で、令和3年度は目標値を達成できませんでした。なお、緊急性の高い修繕については計画の有無に関わらず実施しております。
 指標2 環境に配慮した施設維持については、令和2年度の運転実績を基に空調機設定温度や冷水水発生機運転方法等を検討し、令和2年度より改善を図ることができた。
 指標3 密を避けたイベントやセールの実施、プレミアム付商品券販売や公式LINEの活用等のプロモーションを展開するなど、通行者数の向上に努めましたが、緊急事態宣言の発出などにより外出自粛や在宅ワークが進み、また酒類提供の停止が就業者の早期帰宅を促したこと等により、地下街の通行者数も大きく影響を受け、目標値を下回りました。
 指標4 適正な管理、安定した運営により、駐車台数の確保に努めました。

本市による評価

区分	区分選択の理由
A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響を引き続き受けるなか、目標未達となる指標もあったが、緊急性の高い工事の優先実施等により、安心安全で心地よい空間作りに継続して取り組むとともに、独自のプレミアム付商品券の販売やLINEを活用したプロモーション等に取り組むなど、通行者数の向上に努めているため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト (①～③事業合計)	目標値		215,971	203,457	215,971	203,457	千円
	説明 直接事業費-直接自己収入	実績値	185,230	161,301	159,386	397,466	322,540	

行政サービスコストに対する達成度

4)

- 1). 実績値が目標値の100%未満
- 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満
- 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満
- 4). 実績値が目標値の120%以上

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

地下街アゼリアのお客様とテナント従業員の安全確保を最優先に取り組みながら、店舗売上の促進を図るため、実売に繋がる販売促進策に重点的に取り組むとともに、街内の回遊性向上に向けてデジタルサイネージを設置し、店舗やキャンペーン情報の積極的な発信にも取り組む一方で、営業費用については、設備投資抑制による減価償却費の削減や修繕費・業務委託費などの経費の削減に努めましたが、外出自粛や時短営業要請、酒類提供の停止等、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、行政サービスコストに対する実績値は、令和2年度からの改善があったものの、目標値を下回る結果となりました。

本市による評価

費用対効果
(「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)

- (1). 十分である
- (2). 概ね十分である
- (3). やや不十分である
- (4). 不十分である

(3)

区分選択の理由
実売に繋がる販売促進や魅力ある店舗の誘致等により施設全体の活性化を図り、店舗家賃収入等の増加に努めるとともに、修繕費や業務委託費等の経費の縮減を図ったが、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことなどにより、指標1、指標2、指標3の目標値が達成できなかったこと、また、市の負担金等は前年度から18百万円減少したものの、自己収入が伸びず、行政サービスコストが目標値の範囲を超えたため。

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和3(2021)年度)

事業名	店舗活性化推進事業
計画 (Plan)	
指標	①店舗売上高、②店舗レジ客数
現状	日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、売上増を目指すとともに、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、各ゾーンに最適なテナントミックスを実現することにより施設全体の活性化、店舗売上の向上を図っています。また、効果的なプロモーションの展開により、アゼリアのブランディングと店舗売上の促進を図るとともに、リニューアルに当たって作成したデザインの基準に則り、各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進しています。
行動計画	現状の継続実施を基本とし、日々の店舗管理、店舗指導を的確に行うことでより一層の売上増を目指します。また、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、施設全体の活性化を推進するとともに、店舗売上の向上を図ります。さらに、効果的なプロモーションの展開により各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進します。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、各店舗と連携を取り課題点を共有し、安心して営業に取組み且つ継続出来る環境整備に努めます。また、情勢変動が大きいため、行政からの要請や周辺部情報の収集に努め、売上改善のための対応策の策定に取組みます。 ・店舗開発では出店環境の変化を把握し、外部業者との連携も併せ顧客に支持される店舗の選定に努め、空き区画による減収防止と周辺店舗への悪影響防止に努めます。 ・リニューアルオープン以来のライフシアモールとしてのイメージ作りを継続すると共に、コロナ禍での厳しい環境を想定し、6つのテーマ※を基に、実売に繋がりテナント支援となる施策に重点を置きます。また、各入口から外へのアピール、外部媒体による館内誘引を強化し、通行者数を増やします。街内での店舗やキャンペーン情報の告知を強化し、回遊性も高めます。さらに、新規顧客獲得のため、DM、ポスティング等の囲い込みを強化し新たなリピーターの確保に取り組みます。 <p>※①歳時記に合わせた商品告知の継続推進、②川崎周辺住民の興味関心を引く集客施策の実施、③商品券・ポイントを活用した既存客の囲込み・消費喚起、④テナントのモチベーション喚起、⑤館外から館内への誘因強化、⑥館内装飾によるにぎやかさと通路と買い場の差別化</p>

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】・【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴うまん延防止等重点措置及び緊急事態宣言により、年度の大半が営業時間の短縮や酒類提供の停止を余儀なくされ、売上や客数への影響は大きくなりました。また、運営状況の把握、相談に努めて空き店舗の発生を抑える対応を図りつつ、退店店舗の後継選出にあたっては、店舗動向の分析等により顧客ニーズを把握し、リーシングを行う外部業者とも連携しながら、客層を考慮したリーシングやゾーンに最適なテナントミックスの実現に向け、より一層取り組み、賑わいの創出に努めました。(令和3年度 開店17店舗 閉店13店舗) ・新型コロナウイルス感染者の急増は来店客数に直結することから管理施設・店舗へのアルコール消毒液、飛沫防止シートの設置、また店舗従業員が感染した際の会社・店舗の行動基準(マニュアル)を策定し、各店舗と情報共有するなど店舗管理、店舗指導を的確に行い、お客様の安全安心を第一に来店増に向けて取り組みました。 ・プロモーション展開では、新型コロナウイルス感染症における3密を避けるため、集客性の高いイベント等は執り行わず、プレミアム付商品券販売やアゼリアカードポイント付与、ポイント対象期間延長(取組テーマ③④)などのお得感の提供により集客回復に取り組みむとともに、LINEを活用した新たなプロモーション(取組テーマ②)やDM、ポスティング等によるリピーター確保(取組テーマ②③)などにも取り組みました。その他、地表部バナー広告の取替頻度を上げるなど外部媒体による館内誘引の強化(取組テーマ⑤)、店舗やキャンペーン情報の告知強化(取組テーマ①⑥)などにより、回遊性を高めました。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミモザフェスティバル等の近隣商業施設や商店街のイベントには、新型コロナウイルス感染症を意識した対策(デジタルスタンプ)も行いつつ参加することで、アゼリアの回遊性を高め、川崎駅周辺の活性化にも貢献しました。
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標			目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	店舗売上高		目標値	/	16,021	16,192	16,192	16,192	百万円
	説明	店舗活性化推進を図るための一つの指標となる ※個別設定値: 15,115(現状値の95%)	実績値	15,910	16,312	15,631	11,317	12,200	
2	店舗レジ客数		目標値	/	11.4	11.5	11.5	11.5	百万人
	説明	店舗活性化推進を図るための一つの指標となる ※個別設定値: 10.7(現状値の95%)	実績値	11.3	11.4	11.5	8.7	9.6	

指標1 に対する達成度	C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	C	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

指標1 主要購買層を意識したテナントリーシングの見直しにより、新たな需要の掘り起こしを行う一方、空き店舗の防止に努めて賑わい感の維持を図り、施設全体の活性化、店舗売上の向上に取り組みましたが、期間を通して、新型コロナウイルス感染症による営業時間短縮や酒類提供停止、夜間の早期帰宅化の影響を大きく受けました。好調を維持する店舗もある中、年度後半からは全体での回復傾向も見られましたが、令和3年度累計での店舗売上高は目標値を達成できませんでした。

指標2 来街者の安心安全を第一に考え、集客型の販促イベント・催事等を中止・延期とし、独自のプレミアム付商品券発行やアゼリアポイントの倍増によるお得感のある販促イベントを中心に展開しましたが、レジ客数としては、新型コロナウイルス感染症による営業時間短縮や酒類提供の停止、夜間の早期帰宅化の影響を大きく受け、目標値を達成できませんでした。

<div style="font-size: 24px; color: green;">➔</div> 本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		D	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響を引き続き受けるなか、独自のプレミアム付商品券発行等、お得感のある販促イベントなどによる集客に取り組みむとともに、客層を考慮したリーシングに努め、施設全体の魅力創出や活性化に取り組みましたが、売上高、客数ともに目標未達となったため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分		方向性の具体的内容
		I	II

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

本市施策推進に向けた事業取組③(令和3(2021)年度)

事業名	地域社会への連携・貢献事業
計 画 (Plan)	
指標	①帰宅困難者対策訓練、②チャリティーコンサート
現状	① 帰宅困難者対策訓練 平成30年度 実施 1回 ② チャリティーコンサート 平成30年度 実施 2回
行動計画	① 市と連携し、大震災発生時の川崎駅周辺における帰宅困難者による混乱の抑制に向けた避難誘導及び一時滞在施設開設訓練を実施し、行動ルールの検証を行います。 ② 川崎市と関連のある演奏家によるチャリティーコンサートを開催することで、地域社会への連携・貢献を強めるとともに、熊本地震及び東日本大震災復興支援を行います。
具体的な取組内容	①帰宅困難者対策協議会に参加し、川崎市と連携の上、帰宅困難者訓練 [*] を実施します。(※「帰宅困難者訓練」は市主催) ② 川崎市と関連のある演奏家によるチャリティーコンサート等を開催することで、地域社会への連携・貢献を強めるとともに、熊本地震及び東日本大震災復興支援を予定しており、新型コロナウイルス感染症によるイベント自粛との調整を図り開催を目指してまいります。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 令和3年度については、書面会議による川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会を経て、令和4年2月25日に、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、帰宅困難者対策訓練を実施しました。アゼリアに関しましては、新型コロナウイルス感染症を踏まえて作成された、「感染症対策ポケットガイド」や令和3年10月に実際に発生した夜間帯での地震等を踏まえ、フェイスシールドなどの感染防護衣の着装のほか、非接触型体温計や消毒液等の活用などについて手順等の確認を行いながら、夜間を想定した一時滞在施設開設訓練を実施しました。</p> <p>【指標2関連】 令和3年6月及び令和4年1月にピアノコンサートを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止と致しました。</p> <p>【その他】 催事については、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言下においても、新型コロナウイルス感染症への対策を徹底した上で、鹿児島県や岩手県、鳥取県、広島県、北海道、三浦市イベント等の物産展、陶器市等を実施しました。自由に旅行が出来ない中で各地産品を提供するとともに、コロナ禍で販売機会が減少した地方の地場産業支援を行いました。</p>
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	帰宅困難者対策訓練	目標値	1	1	1	1	1	回
	説明	最大震度6強の地震を想定し、川崎駅周辺の帰宅困難者を川崎アゼリアの地下1階を一時滞在施設として提供します。		1	1	1	1	
2	チャリティーコンサート開催	目標値	2	2	2	2	2	回
	説明	川崎市のイメージアップに貢献		2	2	1	0	

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	d	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会の書面会議に参画し、新型コロナウイルス感染症を踏まえて作成された、「感染症対策ポケットガイド」や令和3年10月に実際に発生した夜間帯での地震等を踏まえ、帰宅困難者対策訓練へ参加するなど、市および周辺事業者と共通認識を持ち、行動ルールの確認を行うとともに、災害に対する防災・減災意識高揚を図りました。なお、チャリティーコンサートについては年2回の開催を予定しておりましたが、国及び川崎市からの要請を受け新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止と致しました。

本市による評価

達成状況

- 区分
- A. 目標を達成した
 - B. ほぼ目標を達成した
 - C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
 - D. 現状を下回るものが多くあった
 - E. 現状を大幅に下回った

C

区分選択の理由

・令和3年度は、市主催の「帰宅困難者対策訓練」への参加のほか、令和4年3月に一時滞在施設の開設・運営マニュアルを策定するなど、防災・減災意識の高揚に寄与したため。
・「チャリティーコンサート開催」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としましたが、コロナ禍の状況を踏まえながら地方物産展を開催し、地場産業支援や行動制限下においても各地産品を提供するなど、地域社会への連携・貢献に寄与したため。

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

3. 経営健全化に向けた取組①(令和3(2021)年度)	
項目名	財務の改善
計画(Plan)	
指標	有利子負債の削減
現状	平成30年度から、平成27年度に借入れた6,500百万円の元本返済が開始。金融機関への約定に基づく借入金返済により有利子負債の削減に取り組めます。
行動計画	約定どおり返済を行い有利子負債の削減に取り組めます。
具体的な取組内容	新型コロナウイルス感染症の収束時期、今後の景気動向、個人消費への影響が見極められないなかで厳しい状況となりますが、業績の維持向上及び事業運営に支障が生じないように手元資金の確保に努めつつ、当初計画に基づく金融機関との約定による借入金返済を計画どおり行い、借入金残高削減に努めます。

実施結果(Do)	
経営健全化に向けた活動実績	新規店舗の誘致活動を計画的に進めることにより空店舗の解消に努め、テナント売上増に繋がる販売促進等に取り組み、家賃収入を確保していくとともに、修繕費や消耗品費等の経費の削減に取り組むことで収支改善に努めましたが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響を受け営業収益はコロナ前の水準までの回復には至りませんでした。また、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に備え、令和2年度の3億円に引き続き手元流動性資金の確保を目的として、金融機関から7億円の借入れを実施しました。

評価(Check)								
経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	有利子負債の削減	目標値		8,796	7,680	6,659	5,780	百万円
	説明 約定返済による借入金残高削減	実績値	9,951	8,796	7,680	6,959	6,696	
指標1に対する達成度		b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に備え、手元流動性資金の確保を目的とした借入れを実施し、円滑な事業運営を行うことができましたが、新たな借入れにより有利子負債の削減としての目標は未達となりました。但し、当初計画としていた既存借入金の残高削減(△879百万円)は予定どおり達成しています。引き続き、売上増や経費削減に取り組む、収益を確保することにより、計画的な有利子負債の削減を達成していきます。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に備え、令和2年度に引き続き、新たな借入を行った結果、目標が未達となりましたが、収支の改善に継続的に取り組む(令和2年度比で売上102.9%、売上原価100.1%)とともに、約定に基づく既存の借入金返済は着実に進んでいるため。なお、引き続き、売上の確保や経費の削減等に取り組む、収支の改善を図ることにより計画的な有利子負債の削減を行うことが必要です。

改善(Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

4. 業務・組織に関する取組①(令和3(2021)年度)

項目名	法令順守の取組
計画 (Plan)	
指標	コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	内部統制システムの基本方針を改正、コンプライアンスマニュアルを整備
行動計画	役員・社員等に対しコンプライアンス遵守を促す取組の実施
具体的な取組内容	コロナ禍という社員を取巻く環境が変化する中、引き続き、コンプライアンスに関する意識の維持向上を図るため、役員・社員等を対象にしたチェックリストによる確認を行います。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	会社としてコンプライアンスに関する意識の向上を図るための取組として、業務監査の実施、役員・社員等を対象にしたチェックリストによる確認やマニュアルの遵守等、コンプライアンスの遵守を徹底したことから、コンプライアンスに反する事案の発生はありませんでした。
---------------	---

評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	0	0	0	0	0	件
	説明 会社として法令等順守の徹底を図ります。	実績値						
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
業務監査の実施や役員・社員等を対象にしたチェックリストによる確認等によりコンプライアンスの遵守を徹底したことから、コンプライアンスに反する事案の発生はありませんでした。								

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A マニュアルの遵守、業務監査等を通じて、コンプライアンスに関する意識の維持向上に取組んでおり、成果指標である「コンプライアンスに反する事案の発生件数」の目標(0件)を達成したため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
損益計算書	営業収益	3,206,679	3,022,500	2,667,441	2,744,039
	営業費用	3,578,983	3,354,097	3,229,412	3,245,773
	営業損益	△372,304	△331,597	△561,970	△501,734
	経常損益	△370,221	△300,119	△524,462	△459,184
	当期損益	△377,826	△320,060	△519,512	△453,492
貸借対照表	総資産	18,598,331	16,812,144	15,604,076	14,762,304
	流動資産	1,654,878	1,334,738	1,385,799	1,937,344
	固定資産	16,943,453	15,477,405	14,218,277	12,824,960
	総負債	12,302,872	10,836,744	10,148,188	9,759,909
	流動負債	2,139,375	1,755,907	1,726,857	1,690,579
	固定負債	10,163,496	9,080,838	8,421,331	8,069,330
	純資産	6,295,460	5,975,400	5,455,888	5,002,395
	資本金	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
剰余金等	1,295,460	975,400	455,888	2,395	
エラーチェック		OK	OK	OK	OK
本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金					
委託料		77,653	85,296	85,416	84,470
指定管理料					
貸付金(年度末残高)					
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)					
出資金(年度末状況)		2,142,735	2,142,735	2,142,735	2,142,735
(市出資率)		42.8%	42.8%	42.8%	42.8%
財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		77.4%	76.0%	80.2%	114.6%
純資産比率(純資産/総資産)		33.8%	35.5%	35.0%	33.9%
純資産利益率(当期損益/純資産)		-6.0%	-5.4%	-9.5%	-9.1%
総資産回転率(営業収益/総資産)		17.2%	18.0%	17.1%	18.6%
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/営業収益		2.4%	2.8%	3.2%	3.1%

法人コメント

現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
<p>営業収益については、空き区画の防止・解消に努めながら、イベント広場の活用や、テナントの実売に繋がる販売促進策を重点的に実施することなどにより、前期比で77百万円の増収となりましたが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響を受け、コロナ前の水準までの回復には至りませんでした。</p> <p>また、営業費用については、業務委託費や人件費等の経費の縮減に取り組むことで、光熱費の高騰等がある中、前期比で100.5%に抑制することができましたが、当期損益としては、▲453百万円と厳しい結果となりました。</p> <p>資金繰りの面では、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に備え、令和2年度に引き続き手元流動性資金の確保を目的として、金融機関から7億円の借入れを行いました。</p>	<p>施設全体の活性化や営業収益の増加に向けては、引き続き、空き区画の防止・解消に努めながら、アゼリアカードの顧客特性をはじめとする各種統計データや専門業者の活用等を図り、顧客に支持される魅力ある店舗への入替に取り組みます。</p> <p>また、コロナ禍における新たな生活様式等の環境の変化を踏まえ、各種統計データ等を活用しながら、近隣施設来訪者や近隣住民の興味関心を引くセールやイベント等の集客施策を展開します。</p> <p>さらに、業務委託費や工事・修繕費、消耗品等の経費の縮減に継続的に取り組むことで、新たに策定した中期経営計画に基づく令和7年度までの単年度黒字化に向け、収支の改善、経営の健全化を図っていきます。</p>	<p>令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中、独自のプレミアム付商品券の発行やLINEを活用した新たな情報発信等のプロモーションにより、営業収益が前年度比102.9%になるなど、施設全体の活性化に取り組めたことは評価できます。</p> <p>当期損益は▲453百万円と厳しい結果となりましたが、今後は、コロナ禍の状況を踏まえながら、法人が新たに策定した中期経営計画及び新たな「経営改善及び連携・活用に関する方針」に基づき、魅力ある店舗への入替や賃料条件の見直し等により店舗家賃収入の増加を図るなど、法人の収益増につながる取組を強化するとともに、業務委託費等の経費の削減・抑制にも取り組み、早期に経営の健全化が図れるよう、本市としても働きかけてまいります。</p>

(2)役員・職員の状況(令和4年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	4	0	2	8	1	1
職員	34	0	1	2	0	2

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性

経営改善及び連携・活用に関する方針の目標値の変更 (令和4(2022)年度～令和7(2025)年度)

法人(団体名)

川崎アゼリア株式会社

所管課

経済労働局観光・地域活力推進部

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

4か年計画の目標の変更

【目標値の変更経緯と理由】

- 本市では、令和4年3月に、地下街アゼリアの施設全体の活性化や法人の経営の健全化、地域社会への連携・貢献等のさらなる推進を図るため、令和3年10月時点での社会経済環境を踏まえ、川崎アゼリア株式会社の「経営改善及び連携・活用に関する方針(以下「連携・活用方針」という)」を策定しました。
- 一方、法人としての取組として、川崎駅周辺市街地における商業活性化の中核的な役割を担うべく、全社一丸となって持続可能な安定的な経営基盤の確立を目指し、令和4年の年明け以降の新型コロナウイルス感染症の影響や、急激な円安、原油・原材料価格の高騰などの社会経済環境の変化を踏まえ、単年度黒字化する年度を令和7年度とする「中期経営計画」を、令和4年3月に策定しました。
- 上記1・2の策定経緯を踏まえ、「連携・活用方針」の財務見通しと「中期経営計画」の財務計画との目標値に差が生じていることから、「連携・活用方針」に掲げる行動計画及び目標値を、「中期経営計画」の取組と目標、財務計画に基づき変更することで、市と法人のより連携した取組の推進を図っていきます。

【「連携活用方針」の行動計画の追記等と目標値の変更】

- 本市施策推進に向けた事業計画②/店舗活性化推進事業

(1) 行動計画

店舗売上高の回復に向け、「ウィズコロナ」の状況を踏まえて、既存店舗の区画・業種構成の最適化等に取り組むとともに、情報発信の充実や既存顧客の囲い込み、さらには、店舗での決済手段の拡充などに取り組めます。

(2) 目標値

令和7年度の店舗売上高目標に基づき、指標「店舗レジ客数」及び「店舗売上高」の目標値を変更します。

- 経営健全化に向けた事業計画①/財務の改善

(1) 行動計画

顧客に支持される魅力ある店舗への入替や効果的なプロモーションの展開、イベント広場の活用等により施設全体の活性化を図り、令和4(2022)年度から令和7(2025)年度までそれぞれ、98百万円、100百万円、142百万円、144百万円の営業収益の増加(令和2(2020)年度比)を目標に取り組みます。

委託業務や工事内容等の見直しを図るなど継続的な経費の削減に取り組めます。令和4年度は令和2年度比で5百万円の売上原価の増加となりますが、令和5(2023)年度から令和7(2025)年度まではそれぞれ、137百万円、250百万円、323百万円の売上原価の削減(令和2(2020)年度比)を目標とします。

(2) 目標値

当期純利益、売上高、売上原価の計画数値を変更することに伴い、指標「有利子負債比率」、「営業収益成長率」、「売上原価低減率」の目標値を変更します。

- 業務・組織に関する計画①/効率的な組織の構築

(1) 行動計画

社内業務のDX化に取り組み、データ活用による業務の高度化や効率化を推進します。

(2) 目標値

売上高の計画数値を変更することに伴い、指標「従業員一人あたり営業収益(売上高)」の目標値を変更します。

(参考)

【「中期経営計画」の概要】

- 計画策定の趣旨

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しや現在の国際情勢の影響を見極めることは困難な状況であるものの、川崎駅周辺市街地における商業活性化の中核的な役割を担うべく、全社員一丸となって持続可能な安定的な経営基盤の確立を目指します。

- 計画期間

令和4年度から令和7年度までの4か年(「連携・活用方針」と同期間)とします。

- 当社の役割

- 川崎駅周辺における集客や回遊性の向上、賑わいの創出を図ること
- 川崎駅周辺の中心的な商業施設として商業活性化を推進すること
- 市民が安全で快適に通行できる公共地下歩道を管理運営するとともに、公共地下駐車場を適切に管理運営すること
- 災害時における一時滞在施設として、防災訓練等により対応力の向上を図ること
- 近隣商店街や行政、被災地域等と連携したイベント等に取り組むことにより、地域社会に貢献すること

- 中期経営計画基本ビジョン

- お客様本位の、地元「川崎」に根付いた施設・空間をつくる
- 安定かつ健全な経営基盤の確立を目指す
- 公共の役割を責任を持って果たす
- 地域社会に貢献する
- 明るい将来展望のある会社をつくる

- 計画期間における取組と目標

【施策1】商業施設「川崎アゼリア」の店舗売上高の回復に取り組む

(目標) 令和7年度 店舗売上高121億円(サービス店舗除く(※)) 令和2年度比123.5% 令和元年度比94.4%

※サービス店舗を含んだ店舗売上高の目標は134億円

(取組項目1) 店舗区画・業種構成の最適化による店舗売上全体の回復

・『ウィズコロナ』の状況を踏まえて、既存店舗の区画・業種構成の最適化、必要に応じた店舗の入替え・移転等

(取組項目2) 情報発信力の充実・強化、

・アゼリアLINE公式アカウントへの友だち登録者の拡大(4,000人→20,000人)

・アゼリアカード会員108,388人(令和4年2月末現在)のカード利用率UP(35%→45%)等

(取組項目3) 既存顧客の囲い込み強化

・既存顧客やアゼリアカード会員へのアプローチの継続・強化

(取組項目4) 店舗での決済手段の拡充(お客様の利便性向上)、

(取組項目5) 広場等を活用した短期催事・イベントなどの積極的開催及び運営体制の強化

・街内の賑わい創出、さらなる活性化を図るために短期催事・イベントなどの積極的な開催等

- 【施策2】環境経営を意識した取組について
 (取組項目1)SDGsの取組
 (取組項目2)脱炭素社会の実現に向けた地球温暖化対策への取組
 ・街内照明設備LED化
 ・再生可能エネルギー等の導入及び利用促進
 (取組項目3)フードロス減少への取組
- 【施策3】効果的・効率的な運営体制(組織)の再構築に向けて
 (取組項目1)人材の確保・育成の推進
 (取組項目2)業務運営のDX化推進
 ・社内業務のDX化に取り組み、データ活用による業務の高度化や効率化の推進
- 【施策4】経営健全化に向けて
 (取組項目1)収入確保に向けた取組の推進
 ・定期貸借契約更新時における賃料条件の改定
 ・リーシング活動の推進・物販催事や企業・官公庁イベントの開催拡大
 ・広告媒体の新規開発や新たなクライアントの獲得 等
 (取組項目2)駐車場運営事業の効率化
 ・EV車を含むカーシェアリング拠点の整備を進め、社会全体のCO2排出量の削減を目指し、脱炭素社会に貢献 等
 (取組項目3)経営資源の効率化
 ・採算性が低下し改善が見込めない事業の縮小・撤退 等
 (取組項目4)経費削減・抑制の強化
 (取組項目5)計画的な設備維持更新投資等の実施

6 財務計画

(1)損益計画

単位:百万円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
売上高	2,667	2,739	2,765	2,767	2,809	2,811
(店舗家賃収入)	(1,346)	(1,415)	(1,446)	(1,451)	(1,477)	(1,477)
売上原価	2,996	2,988	3,001	2,859	2,746	2,673
(減価償却費)	(1,428)	(1,411)	(1,383)	(1,280)	(1,202)	(1,160)
営業利益	△ 562	△ 495	△ 492	△ 357	△ 182	△ 93
経常利益	△ 524	△ 453	△ 422	△ 269	△ 80	21
当期純利益	△ 519	△ 448	△ 422	△ 270	△ 81	20

※記載数値は単位未満を四捨五入して表示しております。

令和2年度は実績・令和3年度は実績見込・令和4年度以降は計画値を記載しております。

(2)資金計画

単位:百万円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
資金収入	1,249	1,701	990	1,037	1,145	1,200
償却前当期純利益	949	1,001	990	1,037	1,145	1,200
その他収入※1	300	700	0	0	0	0
資金支出	1,238	1,137	1,100	1,000	1,016	1,029
設備投資	47	64	98	47	47	58
借入金返済	1,021	963	901	828	828	828
その他支出	170	110	101	125	141	143
単年度資金過不足額	11	562	△ 110	37	129	171
累計資金過不足額	921	1,484	1,374	1,412	1,541	1,712
有利子負債残高	6,959	6,696	5,795	4,967	4,139	3,311

※記載数値は単位未満を四捨五入して表示しております。

令和2年度は実績・令和3年度は実績見込・令和4年度以降は計画値を記載しております。

※1:令和2年度実績・令和3年度実績見込みは新型コロナ対応借入金。

本市施策推進に向けた事業計画

取組 No.	事業名	指標	現状値	目標値					単位
			令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度		
①	施設環境整備事業	施設・設備の整備・更新計画の執行率	R2:25.0	100	100	100	100	100	%
		CO2排出量	R2:7,638	8,212	8,129	8,047	7,966	t	
		通行者数	R3:210.4	227.8	233.5	239.2	244.9	千人	
		事業別行政サービスコスト(①~③の事業合計)	本市財政支出(直接事業費) R2:269,620 (R2:2,996,204)	279,958 (2,976,000)	279,958 (2,836,000)	279,958 (2,729,000)	279,958 (2,686,000)	千円	
②	店舗活性化推進事業	店舗レジ客数	R2:8.7	9.2	9.8	10.9	10.9	百万人	
		(見直し後の数値)		9.8	10.1	10.3	10.3	百万人	
		店舗売上高	R2:11,317	11,960	12,708	14,203	14,203	百万円	
		(見直し後の数値)		12,790	13,183	13,453	13,453	百万円	
③	地域社会への連携・貢献事業	防災関係訓練回数	R2:3	3	3	3	3	回	
		近隣商店街・商業施設、行政等との連携イベント数、及び地方物産展実施回数	R2:10	11	11	12	12	回	

経営健全化に向けた事業計画

取組 No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度		
①	財務の改善	有利子負債額	R2:6,959	5,795	4,967	4,139	3,311	百万円	
		有利子負債比率	R2:127.6	127.8	115.4	96.1	75.8	%	
		(見直し後の数値)		126.4	115.1	97.8	77.8	%	
		営業収益成長率	R2:-	1.8	3.3	7.5	7.5	%	
		(見直し後の数値)		3.7	3.7	5.3	5.4	%	
		売上原価低減率	R2:-	△ 0.7	△ 5.3	△ 8.9	△ 10.4	%	
(見直し後の数値)		0.2	△ 4.6	△ 8.3	△ 10.8	%			

業務・組織に関する計画

取組 No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度		
①	効率的な組織の構築	従業員一人あたり営業収益(売上高)	R2:76,213	77,571	78,714	81,943	81,943	千円	
		(見直し後の数値)		79,000	79,057	80,257	80,314	千円	
		業務監査の実施回数	R2:2	2	2	2	2	回	

【変更前財務見通し】

5. 財務見通し							
収支及び財産の状況(単位:千円)		現状	見込み				
		令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
損益計算書	営業収益	2,667,441	2,715,000	2,715,000	2,755,000	2,868,000	2,868,000
	営業費用(売上原価)	2,996,204	3,015,000	2,976,000	2,836,000	2,729,000	2,686,000
	営業費用(販売費及び一般管理費)	233,208	237,000	237,000	237,000	237,000	237,000
	うち減価償却費	1,447,622	1,434,000	1,410,000	1,299,000	1,221,000	1,182,000
	営業損益	△561,970	△537,000	△498,000	△318,000	△98,000	△55,000
	営業外収益	192,376	172,000	189,000	189,000	189,000	189,000
	営業外費用	154,867	132,000	116,000	101,000	87,000	72,000
	経常損益	△524,462	△497,000	△425,000	△230,000	4,000	62,000
	税引前当期純利益	△518,562	△493,000	△425,000	△230,000	4,000	62,000
	税引後当期純利益	△519,512	△494,000	△426,000	△231,000	3,000	60,000

【変更後財務見通し】

5. 財務見通し							
収支及び財産の状況(単位:千円)		現状	見込み				
		令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
損益計算書	営業収益	2,667,441	2,739,000	2,765,000	2,767,000	2,809,000	2,811,000
	営業費用(売上原価)	2,996,204	2,988,000	3,001,000	2,859,000	2,746,000	2,673,000
	営業費用(販売費及び一般管理費)	233,208	246,000	256,000	265,000	246,000	232,000
	うち減価償却費	1,447,622	1,411,000	1,383,000	1,280,000	1,202,000	1,160,000
	営業損益	△561,970	△495,000	△492,000	△357,000	△182,000	△93,000
	営業外収益	192,376	174,000	190,000	190,000	190,000	190,000
	営業外費用	154,867	132,000	120,000	103,000	88,000	76,000
	経常損益	△524,462	△453,000	△422,000	△269,000	△80,000	21,000
	税引前当期純利益	△518,562	-	-	-	-	-
	税引後当期純利益	△519,512	△448,000	△422,000	△270,000	△81,000	20,000